

**殺菌剤**

炭酸水素ナトリウム・銅水和剤

農林水産省登録 第 19687 号

性状：類白色水和性粉末 45 μ m 以下

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：4 年

包装：250g 袋 × 40、500g 袋 × 20

サンケイジーファイン® 水和剤

有効成分：炭酸水素ナトリウム・・・・・・・・・・46.0%

無水硫酸銅（銅水溶性塩（PRTR・1種））・・・・・・・・・・30.0%（銅として12.0%推定）

ジーファイン®は協友アグリ㈱の登録商標です。

特長

- 有効成分が、植物および病原菌に効率よく接触するように製剤化されているので、従来の無機銅殺菌剤やボルドー液などと比べて低い銅濃度で硬化を發揮します。
- 作用機構から耐性がつきにくく、EBI 剤の耐性菌にも有効です。
- 有効成分である炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅は食品添加物として認可されており、安全性は実証されています。有機農産物の生産にも使用できます。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍率	10 アール 当たり 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	炭酸水素ナトリウム を含む農薬 の総使用回数	銅を含む農薬 の総使用回数
野菜類 (なすを除く) 豆類 (種実) いも類	白さび病	1000 倍	150 ~ 500 ℓ	収穫前日 まで	-	散布	-	-
	うどんこ病	750 ~ 1000 倍						
	軟腐病	1000 倍						
きゅうり	斑点細菌病	750 ~ 1500 倍						
トマト ミニトマト	葉かび病、 すすかび病	800 倍						
なす	うどんこ病	1000 ~ 2000 倍						
レタス 非結球レタス	腐敗病	1000 倍						
ばれいしょ	疫病	1000 倍						
ごんにやく せんぶり	葉枯病 さび病	500 倍 1000 倍						
かんきつ	かいよう病	750 ~ 1500 倍						
西洋なし	輪紋病	500 倍						

使用上の注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は、水中に没しにくいので所定量の水に少量づつ攪拌しながら加え、均一に分散させて散布液としてください。
- 本剤は、病害の発生初期から予防的に散布してください。なお、多発生の場合は効果が劣ることがあるので、所定範囲の高濃度で使用してください。
- きゅうり、スイカ、メロンに使用する場合、葉害が生じる恐れがあるので、幼苗期の散布は避けて中期以降に散布してください。
- きゅうり、スイカ、メロンに使用する場合、高温時、極端な低温時及び湿潤状態が長時間続く場合の散布は、葉害の症状が激しくなることがあるので避けてください。
- きゅうり、スイカ、メロンに使用する場合、連続散布は葉の周辺が黄化したり、硬化することがあるので、過度の連用を避けてください。
- レタスに使用する場合、高温時や結球開始以降の葉害が発生しやすい時期の散布では、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。
- 非結球レタスに使用する場合、収穫葉展開以降の散布は汚れを生ずることがあるので注意してください。
- パセリに使用する場合、生育が緩慢な時期には、汚れを生ずることがあるので注意してください。

- チンゲンサイに使用する場合、収穫葉展開以降の散布は葉害を生ずるので使用を避けてください。
- かんきつに使用する場合、葉害(スタメラノーズ)軽減のため炭酸カルシウム水和剤を加用してください。特に果実着生期の散布は厳守してください。
- かぶ、非結球アブラナ科葉菜類に使用する場合、葉害を生じる恐れがあるので注意してください。
- 西洋なしに使用する場合、葉害軽減のため炭酸カルシウム剤(クレフノンなど)を加用(80倍)してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。

水産動植物に関する注意事項

- 本剤は水産動植物に影響を及ぼすので、養殖池周辺での使用には十分注意してください。